



## 雨にも負けずに踊りまくる ～那須塩原市盆踊り大会～

毎年黒磯駅前通りを会場に開催されている市盆踊り大会。旧黒磯町の時代から名前や場所を変えて続いているこの催しは、今年で100回目を迎えました。節目の開催となる今年は、かつてこの催しが行われていた黒磯小学校に19年ぶりに会場を移し、盛大に行われました。校庭に作られた大きな櫓を中心に、3重、5重の輪ができ、会場を訪れた多くの人が、夏の風物詩の盆踊りを楽しみました。



↑ 大会の最後は大輪の花火が空を彩った



→ 高さ約9mの櫓は、5日間かけて作られた



## いつまでもお元気で ～100歳以上の高齢者をお祝い～

市内の100歳以上の人の長寿を祝うために、市長が自宅を訪問し、敬老祝い金と祝辞を贈呈しました。市内には100歳以上の人が75人(8月7日現在)おり、その内9人が市長の訪問を希望。8月24日には市内最高齢となる室井マツノさん(108歳)を訪問しました。

室井さんは週5日のデイサービスに行くことを楽しみにしており、長寿の秘訣について「歩くこと、動くことが元気の基本」と教えてくれました。



## トップレベルの技術を学ぶ ～東レアローズ・バレーボール教室～

8月6日、黒磯北中学校で東レ女子アローズによるバレーボール教室が行われました。本県出身の黒後愛選手ら国内トップ選手3人が、中学生たちにスパイクやレシーブなどのテクニックを伝授。本市・大田原市内のバレーボール部員6校79人が参加し、アローズ選手のアドバイスを熱心に聞きました。実践では、3選手が打つ球の速さと迫力に少し圧倒されながらも、懸命にパスをつなぎ、貴重な経験を通してそれぞれが技術を磨いていました。



1 子どもたちが勢よく水を運ぶ疏水レース  
 2 花笠おどりで日頃の練習の成果を  
 3 息ぴったりの鼓笛隊  
 4 観客の子どもたちも一緒にダンスを踊る  
 5 一糸乱れぬ疏水太鼓  
 6 遅ればやしの山車は大混雑の中を練り歩く



子どもたち待望の夏休みに入る頃に催される夏の風物詩、西那須野ふれあいまつり。今年も西那須野駅西口を会場に、7月29日に開催されました。雨が断続的に降るあいにくの天気にもかかわらず、歩行者天国の会場を練り歩く鼓笛隊や山車、踊りの周辺には多くの人だかりが。太鼓やお囃子の小気味良い響きや神輿の威勢のよいかけ声が、さらに会場に活気を与えます。日暮れから勢いを増した雨にも負けず、流し踊りの行列は途切れることなく会場を埋め尽くしました。

# 西那須野 ふれあいまつり



7 格闘技のデモンストレーション  
 8 露天商には多くの子どもたちの姿が  
 9 日暮れとともに強まる雨脚  
 10 多くの傘の間に行く神輿  
 11 雨にも負けずに続く流し踊りの行列